




各SBUの重点取り組みテーマ 2016年度進捗報告

バンダイナムコグループでは、各SBU（戦略ビジネスユニット）および関連事業会社が、グループCSR重要項目別に中期計画を策定し、活動に取り組んでいます。中期計画では、重点取り組みテーマを設定し、テーマごとに施策とロードマップを策定の上、グループCSR委員会およびCSR部会において活動状況の進捗確認と振り返りを行い、計画の達成を目指しています。2015年4月から3ヵ年の中期計画における各SBUおよび関連事業会社の活動状況は以下の通りです。

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 ① 商品・サービスの安全と衛生			
SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2016年度活動報告
トイホビー SBU	安全・安心への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> + 「プロダクトセーフティーフォーラム」として、製品安全を考える展示会と製品事故対応研修を社員向けに年1回実施。 + 講話やワークショップを組み合わせた、協力メーカーとの勉強会を年5回開催。 ⇒参加者満足度平均値：93.2% (目標値：80%以上) + バンダイ品質基準の見直しを適時実施し、35項目について改訂を実施。
ネットワークエンターテインメント SBU (コンテンツ)	安全・安心なモノづくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> + 不具合事例や最新法規制等の情報共有を目的に、社員を対象に「製品安全と品質向上を考える展示会」「製品不具合展示会」等を開催。2015年度対比150%超の社員が来場。 + 製品の安全性、耐久性等を定めた品質基準書の見直しを実施し、改訂を年2回実施。 + VR (ヴァーチャルリアリティ) に関するガイドラインを新規に策定。 + 都内の小学校にて小学5年生68名を対象に「製品安全教育」の事前授業を実施。

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 ① 商品・サービスの安全と衛生			
SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2016年度活動報告
ネットワークエンターテインメント SBU (アミューズメント施設)	安全・安心な施設づくり		<ul style="list-style-type: none"> + 「AOU 青少年アドバイザー」資格取得促進。 ⇒アミューズメント施設配属社員総数248名中187名が取得 取得率：75.4% (取得率目標85%) + 「サービス接客検定」資格取得推進。 ⇒店舗配属社員取得率：82.7% (取得目標率100%) + 施設の安全性に関する点検を実施。 ⇒店舗安全点検(年2回)、電気設備点検評価(計14店舗)のほか、キッズスペースや大型遊戯施設にて定期点検を実施 + 食品衛生に関する自主点検を実施。 ⇒食品衛生検査を年2回実施
映像音楽プロデュース SBU	商品の安全基準の取り込み		<ul style="list-style-type: none"> + 商品表示マニュアルを更新。 + 新作パッケージについて製造工程の立ち会いを毎月実施。
関連事業会社 (バンダイロジカル・ロジカルエクスプレス)	安全運転により車両事故を抑制し、貨物を遅滞なく届ける		<ul style="list-style-type: none"> + ドライバー研修を年5回実施。 + 点呼時の安全指導を実施。 + 安全性優良事業所 (Gマーク) の認証を10拠点において取得。
関連事業会社 (アートプレスト)	生産・材料における安全・安心の製品提供		<ul style="list-style-type: none"> + 生産工程をフローチャートで管理。 + 工場監査を実施し、生産工程上の品質管理の遵守を確認。 + 既存の使用資材について、材料種別・製品タイトル別にデータベース化を実施。 + 新規に導入した資材について、材質に沿った定期検査を継続して実施。

ハンダイナムグループCSR重要項目 ② 環境配慮			
SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2016年度活動報告
トイホビー SBU	Act. Now For Future Smiles 笑顔のためにできること		<ul style="list-style-type: none"> + トイホビー SBU内において、CSR部会（年4回）および環境配慮設計、資源リサイクル、ユニバーサルデザインに関する分科会を計15回開催し、ワークショップや体験会を実施。 + 環境広報をはじめとするCSR広報を充実。 ⇒イベント出展：10会場、約4,300名来場 ⇒出前授業：44校、約2,500名対象 + 環境配慮について所定の社内基準を満たした製品を「エコメダル」製品として認定する「エコメダル」認定制度において、68アイテムを認定。 + CSRに関する社内セミナーを年5回開催し、社員向け環境教育を推進。
ネットワークエンターテインメント SBU (コンテンツ)	環境配慮設計および環境啓発活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> + 環境配慮設計「エコアミューズメント」を積極的に推進。 ⇒認定製品が累計35機種に増加（2017年3月時点） + メールマガジンや社内掲示等を通じて社員向け環境教育を推進。 + 環境広報を充実（イベント出展、WEBサイトや雑誌への記事掲載等）。
ネットワークエンターテインメント SBU (アミューズメント施設)	省エネ施策		<ul style="list-style-type: none"> + アミューズメント施設にて、新規に導入した照明設備にLEDを積極採用。 + 使用電力量の見える化、COOLBIZ、WARMBIZ、NO残業DAYの実施により社員の環境意識を啓発。

ハンダイナムグループCSR重要項目 ② 環境配慮			
SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2016年度活動報告
映像音楽プロデュースSBU	環境配慮の実施		<ul style="list-style-type: none"> + 仕掛品および商品在庫の余剰分について、リサイクル処分を実施。
関連事業会社 (ハンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	車両より排出するCO ₂ の抑制と事業所の節電によるCO ₂ 排出の抑制		<ul style="list-style-type: none"> + 新車で購入した車両には、全て「平成22年排出ガス規制」（ポスト新長期適合規制）の適合車種を導入。 + エコドライブ活動継続による平均燃費は5.30km/Lで推移（目標値：5.45km/L）。 + 事務所・倉庫の不要照明消灯による節電を継続し、年間350.0kwh/百万円を実現（目標値：355.0kwh/百万円）。

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 ③ コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー			
SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2016年度活動報告
トイホビー SBU	コンテンツ・商品における倫理表現の統制		<ul style="list-style-type: none"> + 倫理に関する各研修の実施。 ⇒新入社員・事業部社員に向けた研修を年2回実施 + 商品における倫理観、他社事例や社内事例を蓄積し、倫理判断基準の随時見直しを実施。 + 各部門の倫理担当者が集まる倫理連絡会(年4回開催)やメールマガジン(年5回配信)を通して、社内の情報共有を強化。
ネットワークエンターテインメント SBU	適切な倫理表現への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> + ネットワークエンターテインメントSBU各社共通のCSR重点取り組みテーマとして「コンテンツの適切な表現の管理」を掲げ、取り組みを推進。 ⇒倫理表現に関する社員向けセミナーを継続して実施 ⇒国内外で倫理表現に関するメールマガジンを社員向けに配信等、倫理表現に関する社員向け教育を実施 ⇒倫理表現に関する専用窓口設置 ⇒配慮すべき倫理表現に関する辞書を社員向けに多言語で作成 + グループ各社の倫理担当者が集まるグループ倫理担当座談会を年2回開催し、倫理判断事例を共有。
映像音楽プロデュースSBU	表現や用語における倫理チェック		<ul style="list-style-type: none"> + 倫理的表現について、2部門による多重チェックを実施。 + 倫理や表現(差別用語・放送禁止用語・歴史問題・地域問題)に関する社内研修の実施。 ⇒34名参加
関連事業会社(アートプレスト)	社内意識の向上		<ul style="list-style-type: none"> + 全社員に対して情報セキュリティ(Pマーク)研修を実施。

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 ④ サプライチェーン管理			
SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2016年度活動報告
トイホビー SBU	労働規範監査(BFA監査)		<ul style="list-style-type: none"> + バンダイ製品を生産する全ての海外最終梱包工場に対して監査を実施。 ⇒累計154社実施 + キャラクター情報規制がある著作権元の商品を生産する工場のサプライチェーン管理を強化。 + 東京、上海、深川の3会場でサプライヤーとの情報共有を行う「サプライヤーカンファレンス」を実施。
ネットワークエンターテインメント SBU	国内外における適切なサプライチェーン管理		<ul style="list-style-type: none"> + 品質基準およびグリーン調達基準に関する社内外向け説明会を開催。 + 国内外の最終アッセンブリ工場(国内外計6社)を対象に、製品含有化学物質管理システム、品質マネジメントシステム、就労環境等に関する工場監査を実施。 + 取引先との効率的な情報共有を目的にサプライヤー専用サイトを設け、最新情報を発信するとともに、利便性の向上に向けた改修作業を随時実施。
映像音楽プロデュースSBU	サプライチェーン管理の実施		<ul style="list-style-type: none"> + 工場監査強化のため、工場監査チェックリストを作成し、運用を開始。
関連事業会社(バンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	一貫物流サービスの展開		<ul style="list-style-type: none"> + AEO通関業者資格を維持。 + プライバシーマークを維持。 + タイに現地法人を設立し、新規一貫物流サービスを展開。
関連事業会社(アートプレスト)	生産現場における安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> + サプライヤーへの工場監査を継続して実施。 + 新規商材について社内におけるデザインレビューを強化し、不備発生を未然に防止。